熊本リハビリテーション病院広報誌“くまりは！”

KUMAREHA

2017 10
Vol.83
TAKE FREE

Contents

巻頭特集「訪問リハビリテーション」

お仕事紹介 スポーツドクター／医師入職のご紹介／
なになに?ハイブリッドリハビリテーション!! リハ栄養管理とIn Body測定／熊本リハビリテーション病院 地域連携連絡会の報告
みんなのWLB／このあたり ～ロティサリーチキン専門店 WISHBORN～／ながら運動のすすめ／and more…

Cover Photograph　撮影：伊藤写真事務所　Model：山守美沙（理学療法科/菊池地域リハビリテーション広域支援センター）

巻頭特集

訪問リハビリテーション

訪問リハビリテーション部
市瀬 郁子

私たち訪問リハビリテーション部は、理学療法士7名、作業療法士6名、言語聴覚士2名が、ご自宅へ訪問しリハを行っています。ご利用者が暮らす自宅の形は様々で、住み慣れた家はもちろん、有料老人ホーム、地震後の仮設住宅へも訪問しています。**ご利用者や家族が、安全で楽しく、ご自宅での生活を継続していただけるよう、各セラピストの視点から訪問しています。**ここからは、各セラピストが担当している、訪問内容を紹介します。

理学療法士

理学療法士が担当している訪問の紹介です。

ご利用者様は、圧迫骨折による退院直後の方で、自宅での介護は「わからないことばかりで…」と不安が聞かれました。介護保険の申請状況や安静度を病院から情報収集し、訪問を開始。起き上がる、座る、立ち

作業療法士

作業療法士は身体の動きの維持や改善、日常生活動作（トイレや入浴など）の練習やその方にあった動作方法の習得、活動・参加（病前に行っていた余暇活動など）の再構築を目的に身体や生活環境・ご家族など、その方を取り巻く全ての事にアプローチを行う仕事です。

訪問リハでの作業療法の魅力は入院中に行っていた日常生活動作練習を直接ご自宅の環境で確認・練習ができ、ご利用者様・ご家族が安心して暮らせるようアプローチできることです。

言語聴覚士

こんにちは！言語聴覚士です。言語聴覚士は言葉でのコミュニケーション（話す・聞く・読む・書く）や食べることなどを支援するお仕事です。

その中でも、訪問言語聴覚士の仕事の魅力は、直接ご利用者様の食事や会話といった生状況を確認できることです。

写真は実際の訪問リハビリの一コマです。食べる

上がる、歩く、を評価し、介助方法をお伝えしました。てすりがあればトイレや浴室への歩行が安全にできると考え、ケアマネジャーと連携し、てすりの設置を追加しました。歩く自信がつき、昼間のトイレは歩いて行かれ、自宅で友人とのお茶会を楽しまれるようになりました。

訪問の理学療法士は、ご利用者様の自宅において、生活するための動作の方法を一緒に考え、さらに、その人らしい「したいこと」につながることを目指し、訪問をしています。

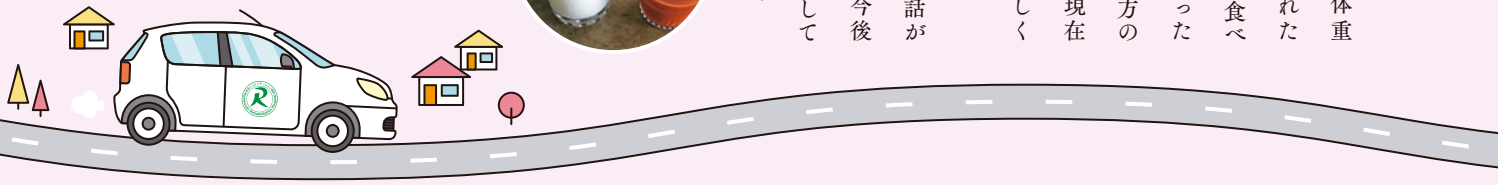
また写真は発達障害の方の参加に対するアプローチです。中学校以来7年ぶりとなった、ご本人が大好きなプール活動を実施しました。関節に負担をかけず（変形予防）筋力・体力をつけることを主目標とし、事前に母親と共にプールのスタッフと協議して更衣場所の決定や免除内容の確認等行いました。そして今後母親と二人でプール活動できることを最終目的とし、親子で利用できる更衣場所の検討も含めながら取り組んでいます。

作業療法士は身体だけではなく生活・余暇活動に対してもアプローチします。生活する上で「怪我しそう」「この動作方法で良いのかな？」とか「病前行っていた好きな事をやってみたいけど出来るかな？」などございましたらご相談下さい。

時にムセるため、誤嚥性肺炎を繰り返し、体重も減少していました。「水分にトロミて言われたばってん、オロナミンCにもつけんばんどか」「食べるときに咳ばかりして困ってます」などといった要望に対し、評価を行い、トロミのつけ方・食べ方の工夫・食材の選び方などをお伝えしました。現在肺炎を繰り返さず、体重も徐々に増え、美味しく食事を続けていらっしゃいます。

美味しいものを食べることや友人との会話が楽しみという方も多いのではないでしょうか。今後とも、一人でも多くの方の食事と会話を支援していけるよう、仕事に励んでいきたいと思います。

利用される方々の要望に合わせて、
各セラピストがご自宅へ訪問いたします！ いつでも、ご相談ください。



お仕事紹介 ～院外編～

スポーツドクター

脳神経外科部長／弥冨親秀

実はドクターは院内での診療以外にもいろいろな仕事をしています。
今回はスポーツドクターとしての活動も行っている脳神経外科 弥冨医師が全国高校総体に参加してきましたのでご報告します。

【平成29年度】全国高等学校総合体育大会ボクシング競技大会に参加して

平成29年度全国高等学校体育大会ボクシング競技は、平成29年8月4日(金)より8月10日(木)までの7日間、南東北地方・福島県・会津若松市・あいづ総合体育館において開催されました。私は、健診医師及びリングサイドドクターとして大会に参加しました。

ボクシングの試合運営には、医師、レフリージャッジが必ず必要です。多数の地元医師に加えて、日本ボクシング連盟からの派遣医師2名のうちの一人として参加しました。またレフリー、ジャッジは25名すべて日本ボクシング連盟からの派遣です。試合にはレフリー1名、ジャッジ5名が担当します。8階級、全285試合を無事終了できました。

まず選手は、血圧、体温、脈拍、胸腹部、瞳孔、口腔、ナックル、腱反射などの医師の診察を受け、異常のない選手が体重測定を行い、試合出場許可が出ます。

総合健診は、8月4日(金)午前7時30分開始、出場予定者305名中、297名で行われました。健診、計量をパスし、出場の確定した選手で、トーナメントの対戦表が作られます。14時30分から開会式、開会式中数名の選手が気分不良で中座。高校生の補助員も1名気分不良がありました。

開会式及び試合会場は体育館の2階、救護室が1階に設置されていたので、開会式での気分不良者は2階客席で休憩させました。試合中ダウンした選手の収容に備えて、リング近くに救護所を2ベッド準備するようにしました。

8月5日(土)午前7時30分、一回戦試合予定の152名の健診。午前10時30分から試合開始。リングサイドドクターは、いつでもリングに上がられるように態勢をとり、また試合を終了後、選手に異常がないことを確認して選手を帰します。前日リング近くにベッドを二つ用意しておいたためKO選手を速やかに収容できました。

大会全285試合のうち、準々決勝までは、A、Bのツーリング。準決勝、決勝はAリングのワンリングで行われました。Aリング全154試合をリングドクターで担当し、試合進行に滞りもなく対応できたとほっとしています。

これからも大会本部から要請があり、院長先生のお許しがあればスポーツドクター活動を続けたいと思っています。

Everyone's Work Life Balance 【SERIES】

みんなのWLB

ヨガ教室開催

企画構成／
坂本和歌子（総務課）

今回は特別編として、8月に職員リフレッシュ企画として行いましたヨガ教室の模様をお送りします。

ヨガインストラクターの資格を持つ福田PTを講師に地域交流ホールを使ってたっぷり1時間、ヨガを行いました。ゆっくりゆっくり呼吸を意識して、じょじょにポーズをとっていき…。ちょっと難しいポーズのときは笑いも出ておりましたが、やがて深い瞑想に入っていったのか静かな雰囲気となっていきました。

リハ栄養管理とIn Body測定

なになに？
ハイブリッド・リハビリテーション!!
Hybrid Rehabilitation

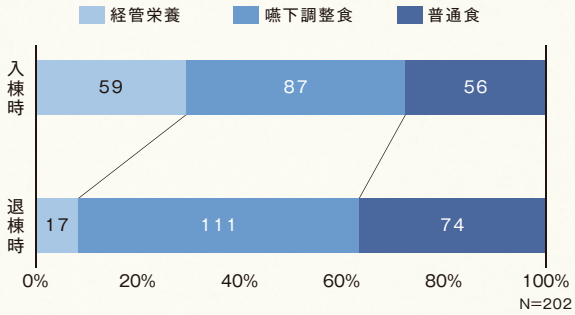
企画構成：冨岡勇貴／理学療法科

今回は栄養サポートチーム、嚥下チームによるリハ栄養管理と In Body測定について紹介します。

【 栄養サポートチームと嚥下チームによる積極的な栄養管理と経口摂取の推進 】

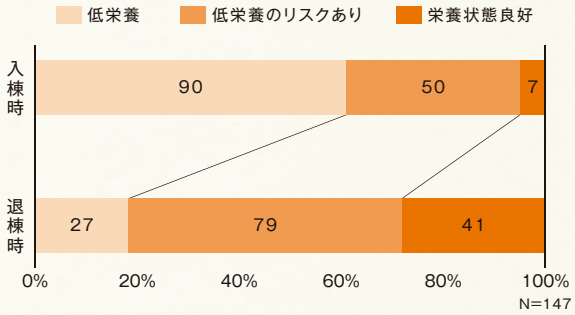
患者様が十分な栄養状態で、口からご飯が食べれるように栄養サポートチームと嚥下チームが連携することで、リハビリが積極的に行えています。当院の回復期リハ病棟に入院した脳卒中患者様の入棟時と退棟時の栄養状態と摂食状況レベルについて報告します。

回復期リハ病棟入・退棟時の摂食状況



入院時は口から食事をとる事が難しい方が多い傾向にありますが、当院の嚥下チームによる取り組みにより、退院時には多くの方が口から食事を摂取できるように改善しています。

回復期リハ病棟入・退棟時の栄養状態



入棟時は低栄養の方が多い傾向にありますが、栄養サポートチームの取り組みにより、退棟時には栄養状態が改善しています。

【 回復期リハ病棟へ入棟する患者様に対しては入院・退院時にInBody測定を行なっています。】

InBody測定は、部位別の筋肉量や、体を構成する体水分、たんぱく質、ミネラル、体脂肪を分析し、栄養状態に問題がないか、体がむくんでいないかなど、人体成分を評価する検査です。

ベッドの上に寝た状態で手足に器具を装着するだけで行える簡便な検査です。

【 リハビリと栄養サポートチーム、嚥下チーム協同のハイブリットリハにより機能・栄養・口腔機能改善!! 】

□ 症例報告《Case Report》　90歳男性　診断名：大腿骨頚部骨折術（入院期間 71日）

入院時

BMI：16.2
食事：経管栄養　アルブミン値：2.6
筋肉量：右脚4.9kg（標準6.5～8.0）
　　左脚4.7kg（標準6.5～8.0）
基礎代謝量：1114kcal
起立回数0回、入院時は歩行不能

退院時

BMI：17.4 ↑
食事：嚥下調整食（軟菜食）　アルブミン値：3.4 ↑
筋肉量：右脚7.2kg ↑（標準6.5～8.0 ）
　　左脚7.0kg ↑（標準6.5～8.0 ）
基礎代謝量：1280kcal ↑
起立回数140回、歩行可能となり退院

第10回 熊本リハビリテーション病院 地域連携連絡会の報告

地域連携部／矢野愛子

平成29年7月22日 熊本ホテルキャッスルにおいて、第10回熊本リハビリテーション病院地域連携連絡会を開催いたしました。

今回は、情報提供として脳卒中リハビリテーション認定看護師の小堀より『認定看護師活動報告』を、講演ではリハビリテーション科副部長の西坂医師より『ボトックス治療について』と、同じくリハビリテーション科副部長吉村医師より『サルコペニアの最新の話題』と題してお話させていただきました。

認定看護師の活動報告については、当院では認定看護師は2名（脳卒中リハビリテーション看護、摂食・嚥下認定看護）が今年の2月より具体的に活動をスタートし、試行錯誤の状態ではありますが、外来診療や病棟のラウンドにて全体的な把握と患者様への介入、病棟やセラピストとの連携、病棟看護師への相談や指導等を行っている事を紹介いたしました。ボトックス治療については、治療の適用や当院における入院・外来での治療の流れ、症例の報告などを行いました。またサルコペニアについては、サルコペニアの定義や診断の基準、運動と栄養を同時に行う事による効果、作成中であるサルコペニア診療ガイドラインの紹介といった内容で講演を行いました。

その後の懇親会では、当院の医局のメンバーを紹介させていただき、普段顔を合わせてお話をする機会の少ない方々とも情報交換を行いながら、充実した時間を過ごせたのではないかと思います。

この会も平成18年に始まり、平成24年に新館のグランドオープン、平成26年に下肢救済センター設立記念会などを経て、第10回目を迎えることが出来ました。今回初めて参加者の方々へアンケートを実施させていただきましたが、この会に対するご要望の中には、リハビリや地域連携について当院での取り組みの紹介などを行って欲しいなどのご意見もいただき、次回の会に向けた課題も伺うことができました。今後も皆様のご協力をいただきながら地域への貢献に努めてまいりたいと思いますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

医師入職のご紹介

（循環器内科
麻　酔　科）

平成29年10月1日より循環器内科 上拾石秀一（かみじっこく しゅういち）医師が入職いたしました。10月より毎週火曜午後、木曜午前、金曜午後に外来診療を行っております（外来担当医表をご覧ください）。

また、同じく10月に麻酔科 能塚博史（のうつか ひろし）医師が入職いたしました。上拾石医師、能塚医師について次号1月号で詳しくご紹介いたします。ご期待ください。

循環器内科
かみじっこく しゅういち
上拾石 秀一

麻酔科
のうつか ひろし
能塚 博史

このあたり

取材・文・写真／坂本和歌子（総務課）

第2回：ロティサリーチキン専門店WISHBORN（ウィッシュボーン）

「このあたり」とは…どのあたりかというと、
熊リハがある菊陽町やお隣の町など近いところから、
時には遠いところまで、足を延ばしてご紹介するコーナーです。

今回は菊陽町杉並台にあります、ロティサリーチキン専門店のウィッシュボーンへ行ってまいりました！

さて、ロティサリーチキンとは。ロティサリーはフランス語で、回転肉焼き器であるとかロースト専門店と言った意味があります。ロティサリーチキンは、複数のハーブや香辛料などで味付けした鶏を、回転する専用オーブンを使って焼き上げた鶏の丸焼きです。フランスが本場の料理です。

オーナーの田川さんはイギリスに滞在経験があり、フランス旅行中にこのロティサリーチキンに出会ったとのこと。そして日本に帰国後こちらのお店をオープンされました。店頭では数十種類のハーブに2日ほど漬け込んだ鶏が回転するオーブンで焼かれています。（テイクアウトもあるそうです）ああ鶏さんが回っている…。

店内に入った瞬間お肉の焼ける香ばしい匂いが！今回はお昼に伺いまして、ランチのロティサリーチキンセットをいただきました。メインのチキンにジャーサラダ、フライドポテト、ライス、ドリンクが付きます。どれもこれもたいそうおしゃれ…。肝心の肉ですが！これはもうなんと美味いことでしょうか。お肉に使う擬音じゃないかもしれませんが、ほっくほくです。そしてスパイスの風味が…なんでしょうか表現しきれません。ぜひ、お店でご賞味ください！夜は一羽まるごとも食べられますよ～。

ウィッシュボーンは…

ながら運動のすすめ

いつでもどこでも短時間で効率よく効果が得られる
ながら運動第3シーズンです。
第3回は**足の外がわの運動**の紹介です。

効果

- 腰痛の予防と軽減になり、姿勢がよくなります。
- 立位バランスが向上し歩行のふらつきが少なくなります。

【 方　法 】

・手を腰にあて、同じ側の膝をまっすぐ伸ばし、つま先をあげ、真横に開きます。3秒間保持を3回行います。

【 注意点 】

・体はまっすぐにしたまま行います。
・外に開く足のつま先は、しっかり上げて、つま先が外を向かないように正面に向けます。

社会医療法人社団　熊本丸田会
熊本リハビリテーション病院
〒869-1106 熊本県菊池郡菊陽町曲手760
TEL.096-232-3111 FAX.096-232-3119

院　是
病める人に愛と奉仕を
己の仕事に誇りと責任を
組織の中に英知と秩序を
そして理想の医療に向かって
一歩一歩前進しよう

病院基本理念
1. 地域ニーズに応えうる
高機能の総合リハビリテーション病院を目指します
2. 患者様の権利を尊重し
満足して頂ける医療サービスを提供します
3. 保健・医療・福祉の連携を推進し地域社会に貢献します

診療科目

・整形外科　・リハビリテーション科　・内科　・循環器内科　・呼吸器内科
・消化器内科　・代謝内科　・総合診療科　・脳神経外科　・神経内科
・形成外科　・泌尿器科　・麻酔科　・放射線科　・血管外科　・心臓血管外科
・歯科　・歯科口腔外科

MAP

関連施設

・熊本整形外科病院　〒862-0976　熊本県熊本市中央区九品寺1丁目15-7
TEL:096-366-3666
・介護老人保健施設サンライズヒル　〒869-1106　熊本県菊池郡菊陽町曲手760
TEL:096-232-5656
・南郷谷整形外科医院　〒869-1602　熊本県阿蘇郡高森町高森2186-1
TEL:0967-62-3351
・訪問看護ステーションひまわり（熊本リハビリテーション病院併設）
TEL:096-232-3113
・指定居宅介護支援事業所サンライズヒル（熊本リハビリテーション病院併設）
TEL:096-232-3115
・通所リハビリテーション 熊リハ病院（熊本リハビリテーション病院併設）
TEL:096-232-3970
・菊池地域リハビリテーション広域支援センター（熊本リハビリテーション病院内）
TEL:096-232-3194
・熊本リウマチセンター（熊本整形外科病院内）
TEL:096-366-3666

発行／熊本リハビリテーション病院広報委員会